（様式 17）

研究番号	第 19－40

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

［研究課題名］予後不良因子を有する IB 期非小細胞肺癌と術後補助療法についての検討
［研究機関名］聖隷三方原病院
［研究機関の長］山本貴道
［研究責任者］渡邊拓弥（呼吸器外科・医師）
［研究の概要］

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2019年10月17日～2026年3月31日

目的：IB 期非小細胞肺癌における術後 5 年生存率は約 70%で、完全切除例でも再発することがあります。再発例には予後不良因子を含むものが多く、術後補助療法が望ましいですが、I 期であるためガイドラインでは UFT 単独投与のみが適応とされています。

予後不良因子を有する IB 期患者さんにおいて、各因子と予後に対し統計学的解析を加え、II 期肺癌に準じたプラチナ併用術後補助療法が望ましい患者さんを抽出することが今回の研究の目的です。

方法：診療録を用いた後ろ向き研究

■ 対象となる患者さん

2000年1月から2014年5月の期間で、術前治療がなく、完全切除が得られた非小細胞肺癌で、第8版病理病期IB期の患者さんおよびII期患者さんを対象とします。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、臨床病期、腫瘍マーカー等の血液検査結果、画像検査結果、肺癌手術の病理結果報告書、抗がん剤治療の治療歴等

［問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先］

社会福祉法人　聖隷福祉事業団　総合病院　聖隷三方原病院
渡邊　拓弥・呼吸器センター外科
電話 053-436-1251　FAX 053-438-2971